

苫小牧市総合教育会議議事録

会 議 名	第5回 苫小牧市総合教育会議
日 時	平成28年12月22日 自 13時00分 至 13時25分
場 所	市役所本庁舎9階第2委員会室
出 席 者	市 長 岩 倉 博 文 教 育 長 和 野 幸 夫 教 育 委 員 上 原 毅 教 育 委 員 佐 藤 郁 子 教 育 委 員 佐 藤 守 教 育 委 員 植 木 忠 夫
欠 席 者	
事 務 局	教 育 部 長 松 浦 務 仁 教 育 部 次 長 瀬 能 仁 教 育 部 参 事 丹 野 靖 彦 総 務 企 画 課 長 釜 田 直 樹 総 務 企 画 課 主 査 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 主 事 高 橋 優 介
協 議 事 項	(1) 平成29年度予算（教育費政策事業）について (2) その他
会 議 の 経 過 概 要	別紙のとおり

1 開会の宣言 . . . 13時00分
(岩倉市長) 本日は、年末でお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、第5回苫小牧市総合教育会議を開催させていただきます。
早速ではありますが、時間も限られておりますので、会議次第に従って本日の協議に入らせていただきたいと思います。
2 協議事項
(1) 平成29年度予算(教育費政策事業)について
(岩倉市長) 平成29年度予算についてということですが、まだ確定している訳ではありません。今朝、地方財政計画について閣議が終わったということですので、恐らくこれから発表されると思うのですが、それがわからなければ我々は歳入の見込みが確定できないので、現在はまだ決まっていない訳であります。
お手元の資料は、現在教育委員会から出されている最終段階の予算案ですが、これにつきましてまずは説明をして、その上で意見交換を行いたいと思いますので、事務局の方から説明をお願いいたします。
(教育部長) 1事業ずつ説明する予定はなかったのですが、事前にお配りした資料に基づき、教育委員会の平成29年度予算ということで説明いたします。
経常的なものではなく、学校建設といった臨時的な事業費について、昨日理事者へのプレゼンを行いました。1番から15番までお手元の資料にございますが、今市長が申し上げたとおり、全てが予算化される訳ではありません。現在のところ、14番までは事業として何とか認めていただける方針とのことです。15番につきましては、新たに庁内の情報化推進委員会で議論された内容を踏まえ、美術博物館のデジタル資料とのことで、昨日市長にもプレゼンをさせていただきましたので、これにつきまして

<p>では、まだどうなるか未定とのことでございます。</p>
<p>こちらの資料に載っていることでも、資料に載っていないことでも、委員の皆様から何かご意見があればと思っております。</p>
<p>(岩倉市長) 北光小学校と啓北中学校につきましては、当初4月からスタートする予定でしたが国の補助金が採択されず、9月の補正予算で措置されたということで、それによる工期の変更がありますが、それについては説明していますか。</p>
<p>(教育部長) 北光小学校も啓北中学校も、現在の建物を壊して新しいものを造っていくということで、若干時間が掛かることになっていますが、北光小学校につきましては当初から予定しております平成31年度完成ということで変更はございません。</p>
<p>啓北中学校につきましては、この度の補助事業の採択遅れから、事業の終了が1年遅れまして、平成33年度ということになっております。</p>
<p>(岩倉市長) その他、何かお気づきの点で、ご質問・ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
<p>(佐藤守委員) 錦岡小学校なのですが、明德小学校の説明会で父兄の方から、避難所としては明德小学校の方が高台にあって良いのに、海沿いの錦岡小学校では心配だという意見が出ていたとのことでした。錦岡小学校を増改築する際には、避難所としての役目になるような3階建てや4階建てにならないのかお聞きしたいです。</p>
<p>もう1点、東小・中学校の改築事業につきまして、今、小中一貫教育の推進について言われているところですが、これを見ますと隣接のような形で改築されるようです。小中一貫教育を考える際に、外を通らずに廊下で小学校・中学校がつながる形で、先生や児童生徒が行き来できるような形にすることは考えていないのかどうか、お聞きしたいです。</p>
<p>(教育部長) 5番になりますが、錦岡小学校につきましては、明德小学校との統合を考えた増築・改修事業となっております。佐藤委員からご指摘のありました防災機能については、地域住民の方から同様の要望がございまして、3階建てにして、防災備蓄品を収納できるような場所や屋上に一時避難できるような場所の確保等について、</p>

<p>今後設計を進めていきたいと考えております。</p>
<p>東小・中学校の連携について、東中学校につきましては東小学校、若草小学校、それから一部西小学校の児童が進学しており、そういった中で今後も小中学校の連携をしていくこととなります。校舎の改築に際しましては、共有部分を作って小学校と中学校の行き来ができるようなことを考えておりました、全く建物を分けてしまうことは考えておりません。</p>
<p>(岩倉市長) 他にございますか。</p>
<p>(植木委員) 私も2点ほどお伺いしたいことがあります。1つは、拓進小学校の増築ということで、子供が増えているのでやむを得ないと思うのですが、増築後は26学級を維持するとのことで、そのような形で児童数が推移していくという予測が立っているのかどうかお聞きしたいです。</p>
<p>もう1点は、東小・中学校のグラウンドについてです。完成図を見ると、それぞれのグラウンドを作るということだと思のですが、例えば、小学校の場合は少年野球で今も盛んに活動しているのですが、中学校の部活動の野球の関係でバックネットを2つ作るのか、それとも1つなのか、そこら辺の見通しは怎么样了のかお聞きしたいです。</p>
<p>それから、緑小学校についてですが、プールは取り壊すということですが、新しいプールは建てないのでしょうか。わかっていることがあれば、お聞かせください。</p>
<p>(教育部長) まず、3番の拓進小学校校舎新築事業について、平成30年度に26学級まで増加すると見込まれておりますので、増築では、普通学級への転用を見越した中で、それ以上増えても当面は対応可能ということで考えており、現在想定されている住民基本台帳上の人口増には対応できると考えております。</p>
<p>それから、東小・中学校のグラウンドでございしますが、バックネットは小学校部分と中学校部分それぞれに作るということで、どうしても外野の部分については一部共用といいますか、ボールが出入りするような場所は出てしまうようですが、それについては避けて通れないと思っております。地域住民の方からも、そこが心配だという</p>

<p>お話がございました。小中それぞれ分けて使っていただくということで、ネットを張るといふようなこともできませんので、それは部活動等の中で折り合いを付けていただくしかないのかなと思います。ただ、距離的には、何とか十分なスペースを確保できると考えております。</p>
<p>緑小学校のプールにつきましては、解体をして新築をする予定はありません。今後は、公共のプールを水泳授業等に活用していただく予定となっております。</p>
<p>(岩倉市長) よろしいですか。</p>
<p>(植木委員) はい、ありがとうございます。</p>
<p>(岩倉市長) 今、グラウンドは野球部が使っていて、他の部も使っていますよね。ああいう仕組みは教育委員会がやっている訳ではないのですよね。</p>
<p>(植木委員) 東小学校では少年野球を盛んにやっていますので、中学校の部活動との兼ね合いはどうなのかな、ちょっと狭いのかなと思ひまして。</p>
<p>(和野教育長) まだ学校の意思もきちんと決まっていませんので、それによっては、またひと工夫しなければならないと思ひます。</p>
<p>(岩倉市長) あくまでも、まだ大枠で分けているということですね。実際の校舎部分とグラウンドとの関係によって変わってくると。</p>
<p>(和野教育長) はい、だいぶ変わってきます。</p>
<p>(岩倉市長) その他、ございませんか。</p>
<p>(上原委員) 今回の政策事業に関して、実は中身を見るのは初めてです。以前からのトータルの計画の中では承知しているのですが、今回、新年度に関して政策事業を挙げるということについては初めてです。今、説明は無かったのですが、できれば教育委員会の中で、あらかじめこういった事業について説明をいただければ大変ありがたかったなというふうに最初思ひました。</p>
<p>それから、1番から8番までは学校の改築になりますが、これについては計画もありますから、子供の安全・安心を守るといふ意味ではとても理解できますので、これからのこの点については力を入れていかざるを得ないのかなという気がしています。</p>

<p>それから、具体的な質問なのですが、11番の新第2学校給食共同調理場整備事業</p>
<p>について、資料に書いてあるように移転改築が必要とのことで、恐らく現状の場所ではなくて、違う場所に移転をして改築するのだらうと思いますが、その場所ですとか、</p>
<p>運営形態は第1学校給食共同調理場のように民間委託を使うのかどうか、お聞きしたいと思います。</p>
<p>(教育部長) 11番の第2学校給食共同調理場につきましては、昨年、美原町内会</p>
<p>さんからも要望をいただいた経過がございますが、現在の美原町のパークゴルフ場、</p>
<p>旧学校建設予定地ですが、市有地ということで、半分がパークゴルフ場で半分が空き</p>
<p>地として残っている場所がございます。現在は、南高校を挟んで北側に第2学校給食</p>
<p>共同調理場がございますが、ちょうど正反対の南側、海側ということになりますが、</p>
<p>そちらの土地を活用して新第2学校給食共同調理場を建設したいと考えております。</p>
<p>私どもとしましては、地域的にも今は西側の学校を中心に配送しておりますので、配</p>
<p>送経路も概ね現在のままでできると考えております。また、運営形態につきましては、</p>
<p>今年度の学校給食共同調理場運営審議会から、費用的なことを考えてやはり民間委託</p>
<p>が望ましいという形の答申をいただいておりますので、そういったことも念頭に置いて、調理場の移転改築を進めてまいりたいと考えております。</p>
<p>(上原委員) 関連してなのですが、以前、子供の貧困率ということで、全国的には</p>
<p>16%で苫小牧市の場合は24%だという話を聞きました。これが1つの大きな要因</p>
<p>だと思うのですが、今全国的に話題になっているものとして、給食費の無償化があり</p>
<p>ます。例えば、苫小牧市の学校給食会の決算を見てみると、けっこう不納欠損が出て</p>
<p>いますし、いろいろな要因があると思うのですが、もし苫小牧市で学校給食を無償化</p>
<p>するとすれば、学校給食会の会計の決算では、決算額で7億6千万円くらいですから、</p>
<p>それをそのまま被るとは思わないのですが、相当な費用が掛かると思います。そうい</p>
<p>う面から言って、我々教育委員会としても、給食費の無償化についてある程度頭の中</p>
<p>に入れて考えていかなければならないのかなという気がしておりますし、それと併せ</p>
<p>て、事務方はそれについてどのような考えを持っているのでしょうか。それと、良け</p>

れば市長の考え方をお聞きしたいと思います。

(教育部長) 今年のまちかどミーティングでも市民の方からそういったご要望が事前要望として出まして、私どもの方でも事前に回答を差し上げております。そこでどのようにお答えしたかという、今、上原委員がおっしゃったように、1年間で約7億7千万円を小中学校からの給食費としていただいております。これは、99.9%、ほぼ全部を食材費に投入しております。私どもで負担しているのは、学校給食調理場の運営費ですとか、光熱水費、人件費、委託費、配送費というもので、食材費とは別に年間4億5千万円くらい掛かっています。保護者の方で負担しているのが7億7千万円ですから、そこを全額無償化するということになる、毎年7億7千万円の費用が掛かるという単純計算でございます。ですので、そこにつきましては無償化は難しいというふうにご要望をいただいた市民の方にはお答えさせていただきました。ただ、自治体によっては一部無償化や、所得によって無償化ということをやっているところもございますので、そういったところは、仕組みとして今後検討していかなければならないと思います。なかなか、7億7千万円を無償化するというのは現実的に難しいというふうにお答えさせていただきます。

(岩倉市長) 民主党政権の時に無償化の話が出て以来、町村では一部やっているところもあるかと思いますが、少なくとも人口10万人以上の都市では基本的には厳しいと思います。今部長が話したように、所得制限等を設けて一部で取り組むということとは考えられるかと思いますが、全部無償化というのはほぼ不可能ということになるかと思いますが。

(上原委員) わかりました。

(岩倉市長) その他、ございますか。

(佐藤郁子委員) 12番の学校司書の配置に関連してなのですが、業務内容の5番目に学校図書館活動推進委員及び地域ボランティアとの連携とありますが、その連携の範囲として、中央図書館との連携は可能なものになるのでしょうか。小中学校全部では数が多いので中央図書館も大変だと思うのですが、例えば、読み聞かせの活動の

盛んな小学校ですとか、参考になるような本の情報ですとか、そのような連携は中央図書館と教育委員会として可能なものなのでしょうか。

(教育部参事) 中央図書館との連携についてでございますが、学校司書の配置に際し、最初の研修等を中央図書館と一緒に実施しております。中央図書館の機能等を活用するという事柄も、中央図書館との連携も考えて実施しているところです。今後も、学校の親子読書等についての連携を中央図書館とタイアップしてやろうということで、その中核に学校司書を活用したいと考えております。

(岩倉市長) よろしいですか。

(佐藤郁子委員) はい、ありがとうございます。

(岩倉市長) 他にございますか。

特になければ、お手元の資料のこれからの政策予算事業費がどうなるか、見守っていただければと思います。歳入の見込みが確定し次第、最終的にはもう1度正副市長ヒアリングをやりまして、歳入の数字と睨めっこしながら最終的に着手していく、その上で議会に提案することになりますので、今日いただいた意見等につきましては、教育委員会の方で今日のお答えで充分かということも含めて、足りない部分は後ほどまたフォローをしていただければと思います。

(2) その他

(岩倉市長) その他について、何かございますか。

(上原委員) 1点だけなのですが、教育委員会制度が変わりまして、総合教育会議等も設けられたわけです。例えば、学校教育等に関しても、学校の方で気を使っただけで地域等に情報を流していただいております。実際の現場に起こっていることを含めると、保護者との連携が一番大きいのだらうと思います。そのような中で教育委員会制度が変わり、教育はどのような方向に行くのだらうとか、現状の教育現場や

社会教育現場はどうかのだろうということを、一般の市民の方々に知らせるツールが少ないような気がします。「広報とまこまい」等がありますので、その中で紙面を割いてお知らせしたり、あるいは「生涯学習だより」くらいしかないのですが、もっともっと市民に教育の現場や教育の方向性をお知らせするツールがあっても良いのではないかという気がします。

そういう面からいくと、例えば、家庭とか学校とか地域サミットだと言われるのですが、なかなか詳しい現状を市民の方は知らないのではないかと思います。教育環境を含めて、子供たちの学力やいろいろな子供たちの育て方等をもっと知ってもらうためには、例えば上下水道部であれば「水だより」を出していますよね。そういうものを教育委員会で考えても良いのではないかなと。行政の考え方も、総合教育会議で市長が入られた訳ですから、そこら辺で統一した考え方もできるのではないかと思ったものですから、問題によっては社会全体で考えなければならない、そんなことに取り組む必要があるのかなという気がしたものですから、今すぐには言いませんが、そういうものを考えていった方が良いような気がします。それで、市長のご意見があれば、お伺いしたいのですが。

(岩倉市長) そのことも含めて、いろいろとご意見をいただきたい案件等もありますので、後ほどお時間をいただければと思っております。

また、今の上原委員のご意見につきましては、教育委員会としてしっかり受け止めていただきたいなと思います。

その他、ございますか。特にないでしょうか。それでは、本日は来年度予算の政策事業に関わる案件等についていろいろとご意見をいただきましたので、これが予定通り執行されるように取り組んでいかなければならないと思っております。

以上をもちまして、第5回苫小牧市総合教育会議を終了させていただきます。

2 閉会の宣言 ・ ・ ・ 13時25分